



vol. 42

2016年7月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



写真提供：津田一男様(富津市在住)

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-3号
審査体制区分4(ver. 1.0)
2014.8.23~2019.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙《病院の風景》……………1	初診時選定療養費のご負担について……………5
医務局 泌尿器科の紹介……………2	君津中央病院附属看護学校……………6
病気のおはなし 閉塞性動脈硬化症について ……3	大佐和分院よりお知らせ……………7
看護局 外来1の紹介……………4	地域で救急診療を受ける皆様へ……………8

医務局 泌尿器科の紹介

■泌尿器科からのお知らせ

平成28年4月から約10年ぶりに泌尿器科の通常診療を再開いたしました。常勤4人、非常勤ながら長らく泌尿器科を支えていただいた片海先生の5人体制です。長きにわたり近隣住民の方々にはご迷惑をお掛けしたことと思いますが、これにより365日24時間、泌尿器科疾患の患者さまの受入れが可能となりました。

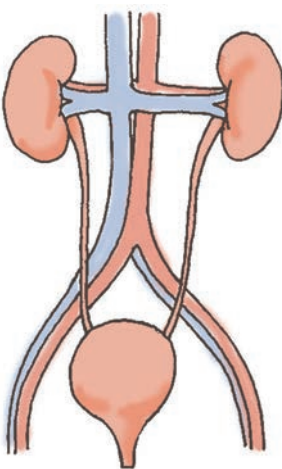


■泌尿器科ってどんな診療科？

ところで泌尿器科がどんなことをしているかご存知でしょうか？

私の妻に「え？泌尿器科って性病だけじゃないの？」とか、大学の同級生の循環器内科医に「え？泌尿器科って手術するの？」とか、多大な誤解を受けていることが多いのが現状ですので、少し泌尿器科がどんなことをしているのかお話ししたいと思います。

ちなみに「泌尿器」とは、泌＝内分泌、尿＝尿路、器＝生殖器を意味する造語です。内分泌臓器は体内にたくさんありますが、泌尿器科が専門とするのは副腎、精巣です。尿路は文字通り尿の通り道ですので、腎臓、尿管、膀胱、尿道となります。生殖器は女性と男性に分かれますが、泌尿器科は主に男性が専門で、陰茎、精巣、前立腺となります。したがって、これらの臓器もしくは器官のすべての疾患が対象患者となり、非常に疾患が多岐にわたるのが泌尿器科の特徴の一つです。



ただし、腎臓の機能の問題（いわゆる腎臓病）や副腎の機能の問題などはそれぞれ腎臓内科、内分泌内科が専門です。泌尿器科は主に腫瘍、結石、外傷、先天異常など、形態異常を扱うことが多く（後で述べますが例外も多いです）、したがって形態異常の修復あるいは摘出などいわゆる「外科」としての側面が強いのです。近年大学病院を中心に、泌尿器外科とか腎泌尿器外科とか器官なんとか外科とか、泌尿器科の標榜を変えるところが増えているのは、そうした「外科医」としての側面をアピールしたいのだと思います。私もこれまで手術のスキルアップを中心に勉強してきたので、「外科」という文字を標榜に入りたいと何度か大学の上司にお願いしたことがあります。そのとき上司に言われたのが「じゃあ泌尿器内科はだれが診るんだ？」

癌の治療は手術だけではありません。放射線治療、抗がん剤治療、免疫療法などなど選択肢はたくさんあります。また、排尿障害や男性不妊などを専門とする内科はありません。泌尿器科は内科と外科、両方を兼ね備えているのです。だからこそ、目の前の患者さんに外科治療と内科治療どっちが良いのかを「中立」の立場で選択できていると思っています。

近年、医療の進歩、安全管理の進歩に伴いすべての専門分野でトップレベルの医療を提供することはきびしくなっています。ゆえに多くの診療科でその専門分野をさらに細分化するようになってきました。そうしないと知識やスキルの習得が追いつかないのです。

しかし、内科治療、外科治療の両方をこなすこと、さらに言うなら診断から治療、緩和治療に至るまで、すべてを一つの科で行うこと、それが「泌尿器外科」ではなく「泌尿器科」の特徴であり、それはどんなに時代が変わっても守り続けていきたい誇りだと考えています。

（泌尿器科 河合 正記）

病気のおはなし 閉塞性動脈硬化症について

●閉塞性動脈硬化症とは

閉塞性動脈硬化症という病気をテレビなどで御存知の方もいらっしゃると思います。症状は、歩行していると足の筋肉がだるくなる、重くなる、痛くなるといった症状がおき、立ち止まって立ったまま休息すると症状が消失してまた歩ける（間欠性跛行）^{かんけつせい は こう}というものです。ただし、座らないと痛みが消失しないのは腰部脊柱管狭窄症^{ようぶせきちゅうかんきょうさくしやう}という別の病気の可能性があります。「足が痛いだけなら我慢すっぺ」と考えているあなた、この症状に対して全身の血管管理をしないと、5年間で下肢切断になる人は4%弱ですが、50%弱の方に狭心症や心筋梗塞が発生して5年間死亡率は30%程度とされている全身血管病なのです。

重症度分類

- | | | |
|-------|----------|-------|
| I 度 | 無症状～冷感など | 重症虚血肢 |
| II 度 | 間欠性跛行 | |
| III 度 | 安静時疼痛 | |
| IV 度 | 潰瘍、壊死 | |

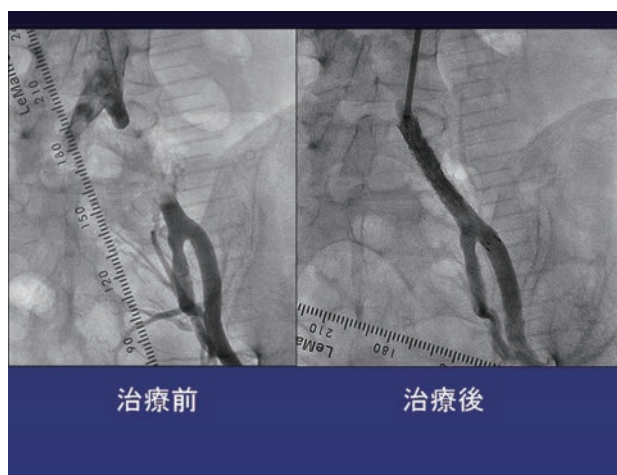


足の太い血管が詰まるということは全身のあらゆる血管も詰まってくるということ。しかも、患者さまは年々増え続けています。70歳以上では、13人に1人以上がこの病気と言われ、決して珍しくはありません。生活習慣を含めた全身管理が重要となります。



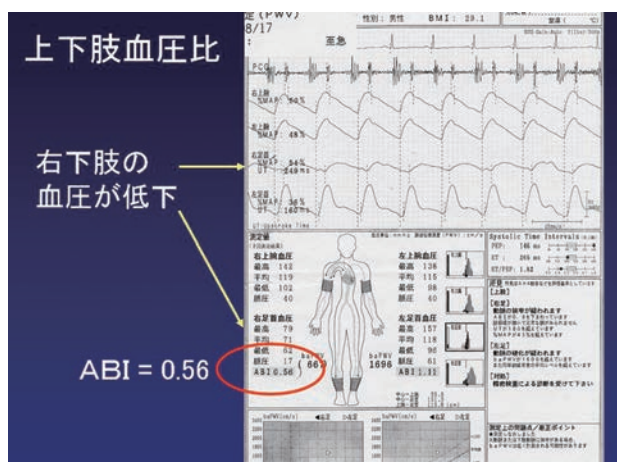
●治療の方法

治療はまず禁煙。この病気の90%以上の方に喫煙歴があります。続いて抗血小板薬をベースに、糖尿病や高血圧などの治療を行います。そして必ず下肢造影と共に冠動脈造影を行います。6割位の方が、冠動脈に重度の狭窄が見つかります。下肢の血管に狭窄や閉塞が見つかり、症状が強い場合には、血管をバルーンで拡張し、場所によってはステントで治療しますが、状態が悪ければバイパス手術となることもあります。



●受診について

御家族やご近所に上記のような症状の方がいらっしゃいましたら、まずは御近所の循環器を標榜する内科か整形外科を受診して、「四肢圧測定」を受けてみてください。



（循環器内科 山本 雅史）

看護局 外来1の紹介

いま！外来は……

当院の外来は、29科の診療科があり、1日平均受診数は約1,200人です。診療システムは、来院して予約をとる「当日受付制」と、他の医療機関(かかりつけ医)からの「紹介受診」(事前予約可)及び「予約再診」となっています。救急病院ならではの救患の優先診療等の事情で“待ち時間”が発生してしまったり、当日来院されても紹介診療の優先や診療数の制限などで、やむを得ず診療をお断りすることもあり、昔とは違って少々かかりづらい外来になっているかもしれませんが、地域の急性期病院として「地域医療連携」を推進しておりますのでご理解頂きたいと思います。

泌尿器科・本稼働！！

4月から泌尿器科は新たに常勤医4名が加わり、新体制での外来診療がスタートしました。受診をご希望の方は、“かかりつけ医からの紹介および事前予約”にご協力をお願いいたします。



緩和ケア相談外来

当院でがんの治療を行っている、もしくは行う予定の患者さまとそのご家族を対象とし、からだの症状や心のつらさなど、お話をうかがって解決につながるよう緩和ケア相談外来*を開設しており、治療を担当している医師と連携しながら支援させていただきます。

* 詳細については、現在受診中の診療科職員にお問い合わせください。



「看護外来」、ご存じですか？

長期の「療養生活」をサポートします。

近年、外来における高度な検査・治療・手術や化学療法などで外来医療は大きく変化しており、多様なニーズの対応が不可欠となっています。また“入院期間の短縮化”で、患者さんが療養上の問題を抱えながら退院することもあり、退院後は“その療養上の問題”の解決に向けて看護師が専門性を発揮し治療に手いっばいの医師に代わり、患者さま、ご家族さまをサポートさせていただいております。

～糖尿病看護認定看護師による療養支援～



糖尿病の予防と糖尿病の患者様が健康な方と変わりなく生活できるように支援していきます。

インスリンやお薬のこと | 運動について | 食事療法 | 足のケア
など日常生活で困っていることを含め相談・指導をおこなっています

がんなど長期にわたるフォローが必要な病気や、糖尿病などの慢性疾患を抱えて生活する人たちが増えたことで、患者や家族が病気と向き合いながら在宅での生活を続けていく時、専門的なセルフ・ケアの指導や不安や悩みの相談に応じながら患者さまを支えていくことが大切です。

「看護外来」がその一つであり、とても重要な役割を担っています。看護外来の代表的な例としては、「糖尿病」と「フットケア」「ストーマケア(皮膚・排泄ケア)」となっております。

外来は病院の玄関でもあり顔です。様々な健康の不安をお持ちの方が受診されます。全ての患者さまに「笑顔」で気持ちよく診療・検査・治療を受けていただけるよう心がけております。不安なことや気になることはお気軽にお尋ねください。

他職種・他部門と協働し、さらに地域の医療機関と連携してまいります。

(外来1 長谷川 光恵)

初診時選定療養費のご負担について

当院は、君津保健医療圏内で高度急性期医療を担う唯一の医療機関として、より病状の重い患者さまに専門的かつ高度な医療を提供するため、地域の医院・診療所「かかりつけ医」との役割分担、連携を推進する国の政策(病診連携)に基づき、「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちでない初診の患者さまには保険診療上の初診料の他に「初診時選定療養費」(自費)をご負担いただいております。

平成28年4月の診療報酬改定では、病院と診療所の外来診療について機能分化を進めるため、病床数500以上の地域医療支援病院※注(当院は661床です)については、5,000円以上の徴収負担が義務化されました。

つきましては、平成28年4月1日より金額を2,160円から5,400円に改定させていただきましたので何卒ご理解をお願いいたします。

また、紹介患者さまを優先的に診察しているため、紹介状を持たずに来院された患者さまにつきましては、当日の診療状況により診察できない場合がございます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(君津中央病院長)

(注) 地域医療支援病院

紹介患者さまに対する医療の提供、地域医療従事者の研修、病床・医療機器等の共同利用などを通じて、かかりつけ医等を支援する能力のある病院を言います。

< 情報公開制度の実施状況の公表 >

平成27年度 企業団が保有する行政文書の開示等の実施状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
0 件	0 件	0 件	0 件

< 個人情報保護制度の運用状況の公表 >

平成27年度 企業団が保有する個人情報の開示等の運用状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
68 件	68 件	0 件	0 件

Topics

平成28年4月16日 BSジャパンにおいて放映された「この前兆が危ない! ~死の淵から生還したスター 命の伝言~」において当院の北村医師、山田看護師が昨年末に発生した救急搬送について取材を受けました。

君津中央病院附属看護学校

平成28年度のスタートです。

今年4月5日に平成28年度入学式を挙行し、看護専門職を目指す60人の希望に満ちた新入生を迎えました。今年度からは各学年60名、学生総180名となりました。

今春竣工となりました学生寮桜井の丘（全室個室60部屋）には、遠方から本校に入学しました新入生17人、2年生19人、3年生18人が入寮し、学業に専念できる快適な環境の中で新生活を始めました。



また、3月に行われました第105回看護師国家試験では、本校の平成27年度卒業生は全員合格の快挙を成し遂げました。

充実した環境の中で、今後ともより質の高い看護教育の実践を目指し、地域医療に貢献できる看護実践者を育成するため、教職員一同、気を引き締めて日々教育の現場に臨んでいます。

（事務長 佐伯 哲朗）



Information

オープンキャンパスのお知らせ

日 時

● 7月30日(土) 10:00～15:00（午前の部・午後の部）

プログラム

● 学校説明会 ● 高齢者体験 ● 妊婦・沐浴体験
● 模擬授業 ● 学生交流会 ● 進路相談

学校説明会



高齢者体験



沐浴体験



学生交流会



進路相談



問合せ先

君津中央病院附属看護学校 事務係

申込先

TEL 0438-53-8767

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

● オープンキャンパスへの参加申込は、ホームページの申込フォームまたはお電話にて随時受付しています。

● 看護学校URL <http://www1a.biglobe.ne.jp/kimikan/index.html>

● 学校見学を随時受付けておりますので、お問い合わせください。



君津地域リハビリテーション広域支援センター主催 第7回市民公開フォーラム

日 時

● 9月25(日) 12:30 受付 13:00 開始 16:00 終了

会 場

● 君津中央病院

プログラム

1. 医師の講演「健康寿命を延ばそう！ “メタボ” の次は “ロコモ” だよ」
田中 正 整形外科医師
2. 市民グループの健康増進活動の発表
3. 医療介護専門職のブースで健康チェック＆相談をしましょう。

問合せ先

君津中央病院 TEL 0438-36-1071 担当 児玉

※詳しくは公民館・市役所・病院などにあるチラシをご覧ください。

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院栄養係の紹介

【当院の給食管理】

大佐和分院栄養係は管理栄養士2名、調理師2名の合計4名で構成されています。

36床の病院で1食あたりの平均食数は26食と少ないですが、食種は常食から全粥食、分粥食、易消化食、きざみ食、ミキサー食、塩分コントロール食、エネルギーコントロール食、蛋白質コントロール食、脂質コントロール食と多岐にわたります。厨房は1日2人交代で運用しており、ほとんどの業務を1人でこなさなければなりません。調理はもちろん、配膳から下膳、洗浄業務や日々の清掃まで、隅々にまで気を配らないといけません。また、月に一度行事食を実施しており、献立作成から行事食のカード作りもおこなっています。



大佐和分院栄養係スタッフ

【当院の栄養管理】

栄養管理は多職種で行っており、チームで連携をとっています。栄養サポートチーム・褥瘡対策委員会、摂食嚥下訓練チームが活動しています。栄養サポートチーム・褥瘡対策委員会では栄養状態の悪い患者さんや褥瘡を患っている患者さんを抽出し、カンファレンスの際に多職種から栄養状態、身体状況、喫食状況などの情報交換を行い、治療方針を話し合っています。栄養係としては、食事量や形態が適切かどうか、食事内容の検討や適切な栄養剤の追加等を提案しています。摂食嚥下訓練チームでも実際に患者さんのベッドサイドに赴き、言語聴覚士の方を中心に嚥下テストや嚥下内視鏡検査を行い、医師、看護師、管理栄養士と共に評価を行い、食事サポートをしています。

“万病に効く薬はないが、栄養は万病に効く”とおっしゃった先生もいらっしゃいます。

ご飯を食べると元気になり、病気も早く治ります。栄養係スタッフ一同、「安全でおいしい食事。医療に貢献できる食事作りを目指します」を理念におき、患者さんに喜ばれる食事作りを目指して日々努力をしています。

(栄養係 山本 晃佑)

外来診療日 (平成28年7月1日改正) 国保直営君津中央病院大佐和分院 〒293-0036 富津市千種新田710番地 TEL 0439-65-1251

診療科		受付時間等		診察室	月 医師	火 医師	水 医師	木 医師	金 医師
内科・小児科	午前	受付時間 診療時間	8:00～11:30 9:00～	1	寺林			寺林	寺林
				2	田中	田中	三浦	田中	田中
				3		北湯口	北湯口	北湯口※	北湯口
				5	安達		安達	※毎月最終木曜日 桐谷Dr.と交替	安達
神経内科 (予約のみ)	午前	受付時間 診療時間	予約時間に準ずる	1		【予約のみ】 藤沼			
外科	午前	受付時間 診療時間	8:00～11:30 9:00～	2			三浦		
整形外科	午前	受付時間 診療時間	8:00～11:30 9:00～	5		【予約患者有】 保住			
皮膚科	午後	受付時間 診療時間	12:00～15:00 14:00～	5		【予約患者有】 稲福・竹下・吉岡 【医師交代制】			
泌尿器科	午前	受付時間 診療時間	8:00～11:30 9:00～	外来 泌尿器科		【予約のみ】 金坂		【予約患者有】 片海	
	午後	受付時間 診療時間	12:00～15:00 13:30～					【予約患者有】 片海	
眼科	午前	受付時間 診療時間	8:00～11:30 9:00～	外来 眼科	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
	午後	受付時間 診療時間	12:00～15:00 13:30～		佐々木		佐々木	佐々木	
循環器内科 (超音波検査) (予約のみ)	午後	受付時間 診療時間	予約時間に準ずる	エコー室	【予約のみ】 山本・関根 芳生・外池 【医師交代制】				
人間ドック (予約のみ)	午前	受付時間 診療時間	予約時間に準ずる				【予約のみ】 田中		【予約のみ】 山倉

君津中央病院広報誌クローバーでは、表紙写真募集について病院を利用する皆様の視点から撮影した、君津中央病院の写真を募集しています。応募の方法は、病院ウェブサイトより

ホーム ▶ 広報誌「クローバー」 ▶ クローバー表紙写真の募集 をご覧ください。



地域で救急診療を受ける皆様へ

君津保健医療圏(木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市)での救急医療体制は三段式となっております。

平日は、まず「**かかりつけ医**」の受診をお願いいたします。



(君津木更津医師会ホームページより引用改変)

時間外選定療養費のご負担について

君津中央病院の救急外来では、緊急性が高く重症の患者さまを24時間体制で受入れておりますが、緊急を要しない患者さまの増加により、医師の負担が大きくなっております。

とくに患者数の多い小児科については、約9割が入院を必要としない患者さまの診療となっており、緊急性の高い患者さまの診療に支障をきたしております。また、小児科医師の負担も増加しており、本来の救急医療機関として小児救急の機能を維持していくことが大変困難な状況となっております。

つきましては、緊急性のない軽症の小児の患者さまが救急外来を受診された場合、通常の医療費に加え、時間外選定療養費として平成27年10月1日より自費で5,400円(税込み)をご負担いただいております。

小児救急医療の継続のためにご理解くださるようお願いいたします。

(君津中央病院長)